

生きる基本を

弓道で学ぶ



中尾邦廣（なかおくにひろ）
74歳さん
公益社団法人
泉南市シルバー
人材センター（大阪府）

私は、定年後に泉南市SCへ入会し、現在は大阪府立泉南支援学校で就業しています。休校日には、趣味の弓道に励んでいます。

学生時代から、弓を引く美しさと修練の持つ荘厳な雰囲気が好きでした。弓道はただのスポーツではなく、生きることと深く関わる体験を求めているのです。年齢や性別を問わず、一人でも楽しむことができる日本の武道で、道場に一步足を踏み込めば身が引き締まります。

弓道では「礼に始まり礼に終わる」一連の動作が基本であり、重要なことだと道場で教えています。態度や所作の中に、最高目標である「真・善・美」の追求や価値観を表すことが求められます。われわれ弓人はこの最高

目標を達成するため、厳しい修練が要求されるのです。

「礼をする」「歩く」「曲がる」「座る」「立つ」「弓を引き分け離れるときの時機を待つ」、射の余韻を感じ取る「退場する」。これら一連の動作を、基本に忠実で正しく行うことで精神が集中し安定し、体に生気が行き渡り元気がみなぎってきます。一心不乱に修練することが射の基本と十分会得し、「技」をも超越した「隙」のない「気迫」の射を目指すことが弓道修練の本質であり、人格形成につながるのだと思います。

今年も大阪代表として全国大会に出場しました。これまでの実績は、ねんりんピック静岡で全国優勝、五大都市大会（横浜・名古屋・京都・兵庫・大阪）で総合優勝、近畿地域二府四県で優勝などです。

現在も、若い人に負けない気持ちで励んでおり、止まることなく高い目標に向かって歩き続けています。山は登れば登るほど高く険しくなります。私は就業をしながら自己修練を重ねて、基礎と基本を大事にする弓道の指導者として後進を指導していけるよう、これからも頑張ります。

（本人執筆）



写真上・左は「平成17年度大阪府民体育大会」で優勝した中尾邦廣さん。写真右は「平成29年度大阪府連初射会」

